

守備ティー

- * 守備練習のための、ティーバッティングである。
- * 顧問（ノッカー）がないときに、守備の練習ができる。
- * 顧問は個別に守備の指導やアドバイスができる。
- * もちろん打者は、打撃練習になる。

- * 本塁付近2カ所から野手の間をねらって打つ（ティーバッティング）
- * 打者は交互に打ちなるべく打球が重ならないようにする。

- * 1塁ベース上はネット1（サード・ショート・方面からの送球を捕球）
ネット2（セカンド・ライト・右センター方面からの送球を捕球）
- * 2塁ベース上はネット3（すべての方面からの送球をセカンドフォースアウトにする）

- * 試合会場などでネットがないときは、1塁（2人）、2塁（2人）に捕球者をおいて捕球する。
{1塁は正規の位置はサード側、2mくらい下げてセカンド・ライト側とする。（しかしネットがよい）}

- * センターは右センターと左センターの2カ所をつける。
- * ランナーなしを想定して、オールファースト
ランナー1塁を想定して、内野・外野はセカンフォースアウト
ランナー2塁を想定して、内野は2塁走者を牽制してファースト・外野は捕手へバックホーム
ランナー3塁を想定して、前進守備。バックホーム。3塁走者を牽制してファースト。
または擬投をしてサードへ

